

2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年2月14日 東

上場会社名 株式会社kubell 上場取引所 東
 コード番号 4448 URL https://www.kubell.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役兼社長上級執行役員CEO (氏名) 山本 正喜
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上級執行役員 CFO (氏名) 井上 直樹 (TEL) 050(1791)0684
 定時株主総会開催予定日 2025年3月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2025年3月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の連結業績(2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	8,470	30.6	856	—	96	—	75	—	△1,172	—
2023年12月期	6,485	41.2	△83	—	△677	—	△686	—	△620	—

(注) 包括利益 2024年12月期 △1,171百万円(—%) 2023年12月期 △686百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	△28.59	—	△58.3	1.2	1.1
2023年12月期	△15.45	—	△23.8	△11.8	△10.4

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	6,113	1,598	26.1	38.38
2023年12月期	6,273	2,422	38.6	59.66

(参考) 自己資本 2024年12月期 1,598百万円 2023年12月期 2,422百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	1,476	△650	△14	2,912
2023年12月期	469	△1,454	236	2,102

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%
通期	9,741~	15.0~	1,000~	16.7~

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 1社(社名) 株式会社kubellパートナー、除外 1社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2024年12月期	41,762,101株	2023年12月期	40,627,295株
2024年12月期	100,051株	2023年12月期	25,201株
2024年12月期	41,009,147株	2023年12月期	40,168,801株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年12月期の個別業績(2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	7,072	26.0	863	—	854	—	△1,779	—
2023年12月期	5,615	33.1	△333	—	△334	—	△186	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年12月期	△43.39		—					
2023年12月期	△4.65		—					

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	5,524	1,598	28.9	38.37
2023年12月期	6,236	3,028	48.6	74.60

(参考) 自己資本 2024年12月期 1,598百万円 2023年12月期 3,028百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実績の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.4「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは「働くをもっと楽しく、創造的に」というミッションのもと、人生の大半を過ごすことになる「働く」という時間において、ただ生活の糧を得るためだけではなく、1人でも多くの方がより楽しく、自由な創造性を存分に発揮できる社会を実現することを目指し、仕事の効率化や創造的な働き方を実現するサービスの開発・提供に取り組んでおります。

このようなミッションのもと、現在の主力サービスであるビジネスチャットツール「Chatwork」は国内中小企業を中心とした顧客企業の労働生産性向上や働き方の多様化を支援しており、国内利用者数No.1（注1）のサービスとなっております。中長期のビジョンとしてこのビジネスチャットが中小企業市場で圧倒的なシェアを確立していることを強みとし、あらゆるビジネスの起点となるビジネス版スーパーアプリとしてプラットフォーム化を進めることで、さらなる中小企業のDX推進に貢献してまいります。

このビジョンを実現するための取り組みとして、当社はBPaaS（Business Process as a Service）を展開しております。BPaaSとは業務プロセスそのものをクラウドサービスとして提供し、企業がクラウド経由で業務アウトソーシング（BPO）を活用できる仕組みです。これにより、企業の業務負担を軽減し、より創造的な業務に集中できる環境を実現します。当社のBPaaSはビジネスチャット「Chatwork」を顧客の業務プロセスに組み込むことで煩雑なコミュニケーションを効率化し、業務を型化してサービスを提供することで、低コストで中小企業の生産性を向上させることを強みとしております。今後も、BPaaSを通じて企業の業務プロセスを最適化し、Chatworkを中心としたプラットフォームの拡大を推進することで、さらなる中小企業のDX化を支援してまいります。

当連結会計年度においては、事業施策に加えてグループ経営体制の強化にも取り組んでまいりました。主な施策は以下のとおりです。

①2024年7月、社名を「Chatwork株式会社」から「株式会社kubell」へ変更し、コーポレートミッションである「働くをもっと楽しく、創造的に」の実現に向けビジネスチャットにとどまらず、より広範な領域での事業・サービスを提供する方針を示しました。また同月、より柔軟かつ効率的な働き方を実現するため、本社をWeWork乃木坂へ移転しました。さらに、成長領域への経営資源の集中を目的に、10年以上継続していたセキュリティ事業を2024年12月末で終了しました。

②2024年3月、常勤監査等委員を選定するとともに、報酬委員会を設置しました。これにより、取締役会における監督機能の強化、経営の透明性および公正性の向上を図りました。

③2024年8月、Chatworkのフリープランの改定および有料プランの機能追加を発表し、より多くのユーザーに付加価値の高いサービスを提供する取り組みを強化いたしました。フリープランの制限を見直すことで有料プランへの移行を促進するとともに、機能の拡充によりユーザー満足度向上を図りました。その結果、ARPUは前連結会計年度比+8.8%、アカウント事業ARRは前連結会計年度比+14.0%と順調に成長いたしました。

④2024年4月、株式会社kubellパートナーを設立し、BPaaSの事業を別会社化することで経営の効率化、運営効率およびサービス品質の向上を図りました。また、本日開示しました「当社グループ内における経営統合（略式合併による吸収合併）に関するお知らせ」に記載の通り、2025年7月には株式会社kubellパートナーと人事・労務領域のBPaaSを提供する株式会社ミナジンを法人として一体化させることで、売上及び利益の成長スピードの更なる向上ならびに当社グループ管理の効率化を進めてまいります。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は8,470,717千円（前年同期比30.6%増）、EBITDA（注2）856,873千円（前年同期は83,439千円の損失）、営業利益96,856千円（前年同期は677,423千円の営業損失）、経常利益75,476千円（前年同期は686,084千円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は1,172,456千円（前年同期は620,440千円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

(Chatworkセグメント)

売上高は8,323,984千円(前年同期比32.2%増)、セグメント利益は75,949千円(前年同期は717,388千円のセグメント損失)となりました。

Chatworkアカウント事業のARR(注3)、課金ID数、ARPU推移

	2021年12月期 第4四半期	2022年12月期 第4四半期	2023年12月期 第4四半期	2024年12月期 第4四半期
ARR(百万円)	3,447	4,425	6,180	7,045
課金ID数(万)	54.7	66.8	73.1	78.8
ARPU(円)	529.4	547.4	672.4	731.7

(セキュリティセグメント)

セキュリティセグメントについては、引き続き当社としては積極的な事業拡大は行わない方針としております。その結果、売上高は146,733千円(前年同期比21.9%減)、セグメント利益は20,906千円(前年同期比47.7%減)となりました。

(注) 1. Nielsen NetView 及び Nielsen Mobile NetView Customized Report 2024年4月度調べ月次利用者

(MAU:Monthly Active User) 調査。調査対象はChatwork、Microsoft Teams、Slack、LINE WORKS、Skypeを含む41サービスを株式会社kubellにて選定。

2. EBITDA=営業損益+減価償却費及び無形固定資産償却費+株式報酬費用

3. Annual Recurring Revenueの略。毎年継続して発生する収益 MRR (Monthly Recurring Revenue、毎月繰り返し得ることのできる売り上げ) の12倍

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産は、前連結会計年度末に比べて159,507千円減少し、6,113,983千円となりました。これは主に、のれんが1,029,292千円減少、ソフトウェアが573,796千円増加、投資その他の資産が144,905千円増加、現金及び預金が810,440千円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べて663,919千円増加し、4,515,191千円となりました。これは主に、長期借入金が657,996千円減少、契約負債が416,775千円増加、1年内返済予定の長期借入金が443,980千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べて823,427千円減少し、1,598,791千円となりました。これは主に、資本金が174,002千円増加、資本剰余金が174,002千円増加、利益剰余金が1,172,456千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は26.1%(前連結会計年度末は38.6%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて810,440千円増加し、2,912,928千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは1,476,540千円の収入(前年同期は469,541千円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失1,218,567千円の計上、減価償却費338,964千円の計上、のれん償却額121,243千円の計上、減損損失1,249,744千円の計上、契約負債が416,775千円増加したことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、650,117千円の支出（前年同期は1,454,024千円の支出）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出579,365千円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、14,594千円の支出（前年同期は236,936千円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出264,016千円、株式の発行による収入202,550千円、新株発行による支出1,802千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

中期経営計画では2026年12月期までに中小企業No.1 BPaaSカンパニーのポジションを確立し、長期的には中小企業市場における圧倒的なシェアを背景に、あらゆるビジネスの起点となるビジネス版スーパーアプリとしてプラットフォーム化していくことを目標としております。2024年12月期から2026年12月期では、中小企業No.1 BPaaSカンパニーの目標に向けてグループ全体の成長を加速させると共に、利益を生み出せる体制の構築を進めてまいります。

中期目標としては2023年12月期から2026年12月期までの連結売上高CAGR30%以上、2026年12月期において売上高150億円、EBITDAマージン10～15%を目指しております。なお、本目標には将来のM&Aは含まないオーガニックグロースの数値であり、実施した場合には見直しをおこなうことといたします。

上記方針に基づき、2025年12月期においてはビジネスチャットツール「Chatwork」およびBPaaSへの投資と利益を生み出す体制の構築を進めることで、引き続き高い成長率の維持と収益性の改善を同時に進めてまいります。通期の業績見通しは以下の通りでございます。

	2025年12月期
連結売上高	+15%以上
EBITDA	10億円以上

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,102,487	2,912,928
売掛金	432,075	354,506
商品	210	1,764
貯蔵品	6,396	1,619
前払費用	608,346	723,553
貸倒引当金	△254	△194
その他	67,703	31,540
流動資産合計	3,216,966	4,025,718
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,206	—
減価償却累計額	△3,086	—
建物(純額)	5,119	—
工具、器具及び備品	51,228	20,507
減価償却累計額	△45,267	△17,810
工具、器具及び備品(純額)	5,960	2,697
有形固定資産合計	11,080	2,697
無形固定資産		
ソフトウェア	465,353	1,039,150
ソフトウェア仮勘定	353,270	54,962
のれん	1,029,292	—
顧客関連資産	349,708	—
電話加入権	1,270	—
無形固定資産合計	2,198,894	1,094,112
投資その他の資産		
投資有価証券	190,384	184,457
敷金及び保証金	45,386	63,586
繰延税金資産	176,689	282,396
長期前払費用	82,187	109,114
長期預金	350,000	350,000
その他	1,900	1,900
投資その他の資産合計	846,549	991,455
固定資産合計	3,056,524	2,088,265
資産合計	6,273,490	6,113,983

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	273,017	353,355
未払費用	216,809	256,513
未払法人税等	43,990	230,584
契約負債	1,565,770	1,982,545
賞与引当金	26,113	47,126
短期借入金	1,300	—
1年内返済予定の長期借入金	262,336	706,316
その他	157,304	249,314
流動負債合計	2,546,641	3,825,756
固定負債		
長期借入金	1,114,924	456,928
株式報酬引当金	—	156,249
退職給付に係る負債	2,274	3,459
長期末払金	70,000	70,000
繰延税金負債	117,432	—
その他	—	2,798
固定負債合計	1,304,630	689,435
負債合計	3,851,271	4,515,191
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,748,254	2,922,256
資本剰余金	2,734,114	2,908,116
利益剰余金	△3,060,060	△4,232,517
自己株式	△88	△115
株主資本合計	2,422,218	1,597,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△1,768
繰延ヘッジ損益	—	2,818
その他の包括利益累計額合計	—	1,050
純資産合計	2,422,218	1,598,791
負債純資産合計	6,273,490	6,113,983

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	6,485,207	8,470,717
売上原価	2,334,378	2,627,370
売上総利益	4,150,829	5,843,347
販売費及び一般管理費	4,828,252	5,746,491
営業利益又は営業損失(△)	△677,423	96,856
営業外収益		
受取利息	93	270
助成金収入	2,497	—
ポイント収入額	7,933	5,280
投資事業組合運用益	1,442	—
固定資産売却益	—	2,122
雑収入	595	382
営業外収益合計	12,562	8,055
営業外費用		
支払利息	15,934	17,232
為替差損	2,335	1,227
株式交付費	641	1,802
コミットメントフィー	749	752
支払保証料	1,106	1,206
投資事業組合運用損	—	290
投資有価証券売却損	—	1,834
固定資産除却損	178	2,185
雑損失	277	2,904
営業外費用合計	21,224	29,434
経常利益又は経常損失(△)	△686,084	75,476
特別損失		
減損損失	194,278	1,249,744
投資有価証券評価損	24,000	44,300
特別損失合計	218,278	1,294,044
税金等調整前当期純損失(△)	△904,362	△1,218,567
法人税、住民税及び事業税	5,550	182,488
法人税等調整額	△223,739	△228,600
法人税等合計	△218,189	△46,111
当期純損失(△)	△686,173	△1,172,456
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△65,733	—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△620,440	△1,172,456

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純損失(△)	△686,173	△1,172,456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△1,768
繰延ヘッジ損益	—	2,818
その他の包括利益合計	—	1,050
包括利益	△686,173	△1,171,406
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△620,440	△1,171,406
非支配株主に係る包括利益	△65,733	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,622,024	2,607,884	△2,439,620	△88	2,790,199
当期変動額					
新株の発行	126,229	126,229			252,459
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△620,440		△620,440
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	126,229	126,229	△620,440	—	△367,980
当期末残高	2,748,254	2,734,114	△3,060,060	△88	2,422,218

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差 額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計 額合計		
当期首残高	—	—	—	65,733	2,855,932
当期変動額					
新株の発行					252,459
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)					△620,440
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	△65,733	△65,733
当期変動額合計	—	—	—	△65,733	△433,713
当期末残高	—	—	—	—	2,422,218

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,748,254	2,734,114	△3,060,060	△88	2,422,218
当期変動額					
新株の発行	174,002	174,002			348,005
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△1,172,456		△1,172,456
自己株式の取得				△26	△26
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	174,002	174,002	△1,172,456	△26	△824,477
当期末残高	2,922,256	2,908,116	△4,232,517	△115	1,597,741

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差 額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計 額合計		
当期首残高	—	—	—	—	2,422,218
当期変動額					
新株の発行					348,005
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)					△1,172,456
自己株式の取得					△26
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1,768	2,818	1,050	—	1,050
当期変動額合計	△1,768	2,818	1,050	—	△823,427
当期末残高	△1,768	2,818	1,050	—	1,598,791

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△904,362	△1,218,567
減価償却費	386,121	338,964
のれん償却額	112,034	121,243
株式報酬費用	97,555	294,506
敷金および保証金償却	△1,727	△299
株式交付費	641	1,802
投資事業組合運用損益 (△は益)	△1,442	290
投資有価証券評価損益 (△は益)	24,000	44,300
固定資産除却損	178	2,185
減損損失	194,278	1,249,744
為替差損益 (△は益)	289	1,388
受取利息及び受取配当金	△111	△288
助成金収入	△2,497	—
支払利息	15,934	17,232
コミットメントフィー	749	752
売上債権の増減額 (△は増加)	△70,638	77,569
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	182	△59
前払費用の増減額 (△は増加)	111,371	△292,161
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,031	3,223
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	233	1,184
預け金の増減額 (△は増加)	△30,658	19,848
未払金の増減額 (△は減少)	△94,597	85,323
未払費用の増減額 (△は減少)	74,580	39,704
未払法人税等の増減額 (△は減少)	12,767	14,612
未払消費税等の増減額 (△は減少)	40,067	86,146
契約負債の増減額 (△は減少)	533,455	416,775
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,860	21,013
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	—	156,249
その他	△7,713	16,945
小計	489,863	1,499,630
利息及び配当金の受取額	111	288
助成金の受取額	2,497	—
利息の支払額	△15,693	△17,463
コミットメントフィーの支払額	△749	△752
法人税等の支払額	△6,487	△5,162
営業活動によるキャッシュ・フロー	469,541	1,476,540

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
長期預金の預入による支出	△350,000	—
有形固定資産の取得による支出	△763	△10,411
有形固定資産の売却による収入	7	2,172
無形固定資産の取得による支出	△479,757	△579,365
投資有価証券の取得による支出	△29,987	△54,404
投資有価証券の売却による収入	—	8,188
投資事業組合からの分配による収入	290	5,007
敷金及び保証金の差入による支出	△12,162	△21,304
敷金及び保証金の回収による収入	28,696	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△580,349	—
貸付けによる支出	△30,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,454,024	△650,117
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△3,000	△1,300
長期借入れによる収入	300,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△195,272	△264,016
株式の発行による収入	135,850	202,550
新株発行による支出	△641	△1,802
自己株式の取得による支出	—	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	236,936	△14,594
現金及び現金同等物に係る換算差額	△289	△1,388
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△747,835	810,440
現金及び現金同等物の期首残高	2,850,323	2,102,487
現金及び現金同等物の期末残高	2,102,487	2,912,928

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結の範囲の重要な変更)

当連結会計年度において、2024年4月1日付で会社分割（簡易新設分割）により設立した株式会社kubellパートナーを連結の範囲に含めております。

(セキュリティ事業の廃止)

当社は、2024年8月14日開催の取締役会において、以下のとおり、セキュリティ事業を廃止することについて決議し、廃止しております。

1. 事業廃止の理由

当社は、2010年よりESET社の提供するセキュリティ対策ソフトウェア「ESET」の代理販売を行ってまいりましたが、本年2月に発表した中期経営計画2024-2026で掲げた中期ビジョン「中小企業No. 1 BPaaSカンパニー」の実現に向け、事業の選択と集中を促進しリソース配分の最適化を図る観点から、セキュリティ事業を廃止することとしました。

2. 廃止事業の概要

(1) 廃止事業の内容

セキュリティ対策ソフトウェア「ESET」の仕入販売

(2) 廃止事業の2024年12月期における経営成績

	セキュリティ事業
売上高	146,733千円
営業利益	20,906千円

3. 事業廃止の時期

2024年12月31日

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「Chatworkセグメント」と「セキュリティセグメント」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計基準に準拠した方法であります。報告セグメントの利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益又は損失の数値であります。なお、セグメント間の内部取引は発生していません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債、その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	Chatworkセグメント	セキュリティセグメント	計	
売上高				
一時点で移転される財	249,191	187,960	437,152	437,152
一定の期間にわたり移転される財	6,048,055	—	6,048,055	6,048,055
顧客との契約から生じる収益	6,297,246	187,960	6,485,207	6,485,207
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,297,246	187,960	6,485,207	6,485,207
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	6,297,246	187,960	6,485,207	6,485,207
セグメント利益又は損失(△)	△717,388	39,965	△677,423	△677,423
その他の項目				
減価償却費	386,121	—	386,121	386,121
のれんの償却額	112,034	—	112,034	112,034
減損損失	194,278	—	194,278	194,278

(注1)セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載していません。

(注2)当社における主力事業はChatworkセグメントであり、本社機能も含めて間接費の全てがChatworkセグメントの維持・拡大の為に費やされていることから、間接費の全額をChatworkセグメントにて計上しております。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	Chatworkセグメント	セキュリティセグメント	計	
売上高				
一時点で移転される財	322,242	146,733	468,976	468,976
一定の期間にわたり移転される財	8,001,741	—	8,001,741	8,001,741
顧客との契約から生じる収益	8,323,984	146,733	8,470,717	8,470,717
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,323,984	146,733	8,470,717	8,470,717
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	8,323,984	146,733	8,470,717	8,470,717
セグメント利益	75,949	20,906	96,856	96,856
その他の項目				
減価償却費	338,964	—	338,964	338,964
のれんの償却額	121,243	—	121,243	121,243
減損損失	1,249,744	—	1,249,744	1,249,744

(注1)セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

(注2)セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株あたり純資産額	59.66円	38.38円
1株あたり当期純損失(△)	△15.45円	△28.59円

(注) 1. 潜在株式調整後1株あたり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株あたり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株あたり当期純損失の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株あたり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△620,440	△1,172,456
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△620,440	△1,172,456
普通株式の期中平均株式数(株)	40,168,801	41,009,147

3. 1株あたり純資産額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,422,218	1,598,791
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,422,218	1,598,791
1株あたり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	40,602,094	41,662,050

(重要な後発事象)

(連結子会社間の吸収合併)

当社は2025年2月14日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社kubellパートナーを吸収合併存続会社、同社の子会社で当社連結子会社(当社の孫会社)である株式会社ミナジンを吸収合併消滅会社とする吸収合併について決議いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当時企業の名称及び当該事業の内容

吸収合併存続会社

結合企業の名称 株式会社kubellパートナー

事業の内容 各種業務の代行・支援等

吸収合併消滅会社

結合企業の名称 株式会社ミナジン

事業の内容 給与計算アウトソーシング、就業管理システム企画・販売等

(2) 企業結合日

2025年7月1日(予定)

(3) 企業結合の法的形式

株式会社kubellパートナーを存続会社、株式会社ミナジンを消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

株式会社kubellパートナー

(5) その他取引の概要に関する事項

本合併は、株式会社kubellパートナーと株式会社ミナジンを法人として一体化させることで、売上及び利益の成長スピードの更なる向上並びに当社グループ管理の効率化を図ることを目的としております。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行う予定であります。